

東武鉄道株式会社

代表取締役社長 都筑 豊 様

要 望 書

東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会

要望要旨

貴社におかれましては、平素から東武伊勢崎線・野田線沿線地域の鉄道輸送整備や地域振興に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、これまでに、東武伊勢崎線・野田線の輸送力の増強や利便性の向上が図られてきたことは、貴社の多大なるご尽力によるものであり、重ねて御礼を申し上げます。

東武伊勢崎線は埼玉県南東部地域と東京都心を、また、東武野田線は埼玉県と千葉県の主要都市をそれぞれ結ぶ重要な鉄道であり、高度経済成長以降、駅を中心に人口が集積し沿線地域は発展を遂げてきました。

今後の人口減少・超高齢化社会におけるまちづくりでは、コンパクト・プラス・ネットワークの実現が求められ、鉄道駅を中心としたまちづくりは各自治体の重要な施策となっています。また、それぞれに特色のある地域が鉄道を通じて相互に連携し、人の流れを絶えず生み出していくことにより、持続可能なまちづくり・地域づくりが実現できるものと考えられます。こうしたことから、東武伊勢崎線及び野田線が今まで以上に安全・快適で、誰もが使いやすい鉄道となるよう、更なる整備・充実が強く望まれるところです。

貴社におかれましては、このような地域の実情をご賢察いただき、特段のご高配、ご尽力を賜りますよう切にお願いいたします。

要望事項

- 1 東武伊勢崎線・野田線の輸送力増強及び高架化が図られるよう尽力をお願いしたい。
- 2 東武野田線の6両編成維持又は現行の輸送力維持が図られるよう尽力をお願いしたい。
- 3 東武野田線の春日部駅から運河駅の複線化が図られるよう尽力をお願いしたい。
- 4 東武伊勢崎線・野田線及び同線に結節する鉄道路線の乗換改善が図られるよう尽力をお願いしたい。また、長期的な課題であるとされてはいるが、東武野田線とJR京浜東北線の相互乗り入れ実現に向けての取り組みを図られたい。
- 5 「駅ホームの安全性向上のための検討会<中間とりまとめ>」を受け、各駅に対しハード面の対策が図られるよう尽力をお願いしたい。
- 6 駅利用者の利便性向上のため、多言語化による駅の案内放送の実施が図られるよう尽力をお願いしたい。

個別要望事項

■ 東武伊勢崎線・野田線の輸送力増強及び高架化について

【春日部市】

- (1) 春日部駅付近連続立体交差事業の早期完成及び中心市街地まちづくりへの支援

【野田市】

- (2) 現行の輸送サービスの維持・拡充のため、東武野田線の6両編成の維持を図られたい。あわせて、輸送サービス等について、丁寧な情報提供等を図られたい。
- (3) 東武野田線「春日部駅—運河駅間」の複線化の第一歩として、「梅郷駅—運河駅間の複線化」の早期実現

【さいたま市】

- (4) 利用者の利便性確保のため、ピーク時間帯における東武野田線の6両編成維持又は現行の輸送力維持を図られたい。

■ 駅施設の改善について

【さいたま市】

- (1) 大和田駅の橋上駅舎及び自由通路の整備
- (2) 鉄道利用者の安全性向上のため、ホームドアの早期整備

【春日部市】

- (3) 東武伊勢崎線一ノ割駅のホームの上屋・防風壁の延長及び拡幅
- (4) 東武伊勢崎線一ノ割駅の利便性向上

【越谷市】

- (5) ホームドアが未整備となっている市内各駅におけるホ

ホームドア整備の早期実現

(6) 障がい者等に配慮した駅設備の充実

(トイレ等への緊急時回転灯、ユニバーサルシートの設置、
トイレの洋式化、授乳室の設置)

【宮代町】

(7) 東武伊勢崎線和戸駅西口開設及びホームの上屋の延長

■ その他

【杉戸町】

(1) 春日部駅以北では自動車依存が高く、SDGsの観点からも広域公共交通の利用促進が重要である。沿線のまちづくりにおける官民連携を一層強化し、鉄道利用者と人流の増加に向けた取組への協力をお願いしたい。

【宮代町】

(2) 駅周辺のまちづくりに対する一層のご支援とご協力

令和8年1月30日

東武鉄道株式会社

代表取締役社長 都筑 豊 様

東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会

会長 春日部市長 岩谷 一 弘

副会長 さいたま市長 清水 勇 人

副会長 越谷市長 福田 晃

副会長 野田市長 鈴木 有

監事 宮代町長 新井 康 之

監事 杉戸町長 窪田 裕 之